

# 別紙

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(公共交通網形成計画策定に係る事業)

平成 年 月 日

協議会名:津山市地域公共交通会議

事業の結果概要	事業実施の適切性	公共交通網形成計画策定の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在路線などの状況調査</li> <li>・現況分析と他計画との整理・調整</li> <li>・問題点・課題点の整理</li> <li>・住民の意見聴取などの実施 (市民アンケートの実施等)</li> <li>・協議会の開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。</li> <li>・市民アンケートの実施により、住民の移動実態の調査及び中心市街地への公共交通利用に関する意識調査等を合わせて実施した。</li> <li>・アンケート等の結果を踏まえ、 3つのコンセプト 「みんなに「やさしい」「持続可能な」公共交通」 「「まちづくり」といっしょに考える公共交通」 「「交流」と「にぎわい」を創り出せる公共交通」 を軸に、地域や利用者に適した交通モードを検討する。また、需要だけでなく供給側の視点から考えた公共交通についても記載する。</li> <li>・今後、協議会による検討をすすめ、最終的に「津山市地域公共交通網形成計画」として取りまとめる。</li> </ul>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査や現況整理に基づき、 【3つのコンセプト】</li> <li>○みんなに「やさしい」「持続可能な」公共交通</li> <li>○「まちづくり」といっしょに考える公共交通</li> <li>○「交流」と「にぎわい」を創り出せる公共交通</li> </ul> <p>を軸に、地域や利用者に適した交通モードを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・供給側の事業者の視点(運転手の高齢化に伴う運転手確保の問題)から、公共交通の維持方策を考える。</li> <li>・高齢者(特に免許返納者)や子育て世代を対象とした公共交通利用促進・確保について設定する。</li> <li>・立地適正化計画における、拠点誘導のコンセプトも踏まえた公共交通について設定する。</li> <li>・上記の設定に基づき、平成29年度以降、公共交通の再編、維持確保等を検討していく。</li> </ul>

# 平成28年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 津山市地域公共交通会議（網形成計画策定事業）の概要



別添5

## 津山市の概要

- ・平成17年2月に1市3町1村が合併
- ・人口 106,778人（平成22年度国勢調査）
- ・面積 506.36km<sup>2</sup>

## 地域公共交通会議の構成員

学識経験者、地域住民の代表、中鉄北部バス(株)、JR西日本、岡山県タクシー協会津山支部、事業者労組、津山警察署、津山市、岡山県、岡山運輸支局

## 地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR津山線、JR因美線、JR姫新線
- ・4条バス路線：中鉄北部バス、加茂観光バス 計28系統
- ・市営阿波バス、地域巡回バス(有償3路線)、他自治体との共同バス(3路線)
- ・交通空白地有償旅客運送(阿波地域) ・市内タクシー事業者13社
- ・高齢化率25.7%（平成22年度国勢調査時点）

## 具体的な課題・問題点

- ・持続可能な公共交通体系の構築  
（人口及び利用者の減少、供給側である事業者の運転手高齢化など）
- ・地域構造に応じた公共交通体系の構築  
（高齢化、免許返納、子育て世代、小さな拠点など）
- ・地域活性化との連携・支援  
（福祉、観光、にぎわい創出、中心部への来街、津山駅周辺整備）
- ・広域公共交通体系の構築  
（隣接市町などへの連携、共同バスの運行）

## 地域公共交通の現況

別紙参照

## 調査事業の実施

### 調査事業の概要

- ・現況調査（人口、高齢化（免許返納）、公共交通関連計画）
- ・市民アンケート（市内全地域）
- ・子育て世代へのアンケート（乳幼児健診時）
- ・乗降調査
- ・ヒアリング調査（商業施設・公共交通事業者・各種団体等）
- ・公共交通網形成計画の作成

## 協議会における検討

- 協議会の開催状況 4回開催（計8回予定）
- ・第1回（4月6日）策定方針、事業者選定
  - ・第2回（6月30日）策定スケジュール、計画協議
  - ・第3回（9月16日）アンケート、方向性検討
  - ・第4回（12月15日）事業評価、素々案検討
- 以下予定
- 1月 素案検討
  - 2月 パブリックコメントに対する協議
  - 3月 網形成計画の決定

## 地域住民の意見の反映

- ・本年度9月に無作為抽出した市内3000世帯を対象にアンケート調査を実施、1140人の回答を集計。
- ・地域包括ケア会議（勝北地域）、津山市住民自治協議会アドバイザー会議、中山間地域懇談会等において、意見聴取。
- ・乳幼児健診への来訪者へ、子育て世代の意見としてアンケートを実施（66件の回答）
- ・公共交通事業者、商店街等へアンケート、ヒアリングを実施。

## 事業実施の適切性

- 事業は計画どおり適切に実施された。  
（実施中である）
- ・地域公共交通網形成計画策定に必要な調査ができた。

## 調査事業の結果の概要

- ・住民アンケートを実施し、利用動態・利用意識・免許返納・市内中心部への交通手段などの調査を行い、計画へ反映をさせる。
- ・津山市の現況（交通空白地、高齢者率、人口減少の推移、免許保有率など）を調査、また上位計画・関連計画等の整理を行った。
- ・公共交通事業者のアンケート及びヒアリングを実施し、事業者の現状や運転手の高齢化・確保等の問題を計画へ反映させる。
- ・商店街等のアンケート及びヒアリングを実施し、市内中心部での公共交通の方向性を、計画に定める。
- ・乳幼児健診の来訪者へアンケートを実施し、子育て世代の公共交通のための公共交通の方向性を、計画に定める。
- ・地域包括ケア会議などで住民意見を聴取し、バス等のダイヤ調整、バス停の移設・新設、路線見直しなどを検討する。



## 地域公共交通網形成計画の計画策定に向けた方針等

アンケート調査や現況整理に基づき、以下の3つのコンセプトを軸に、地域や利用者に適した交通モードを設定する。

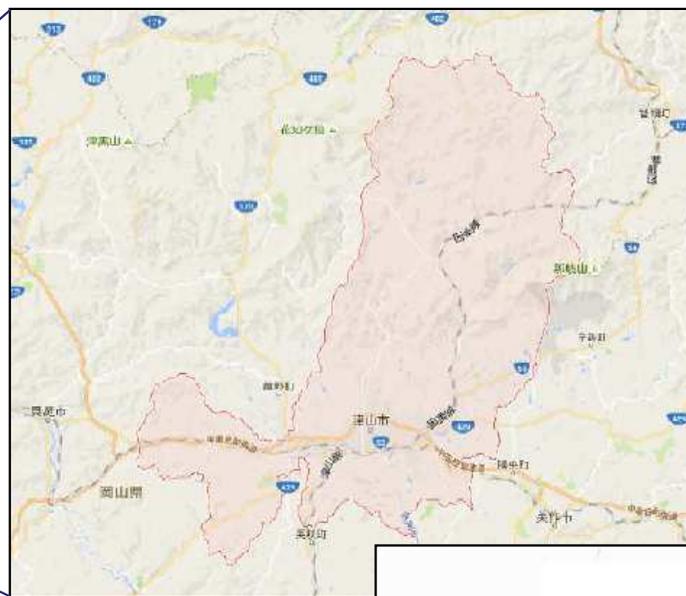
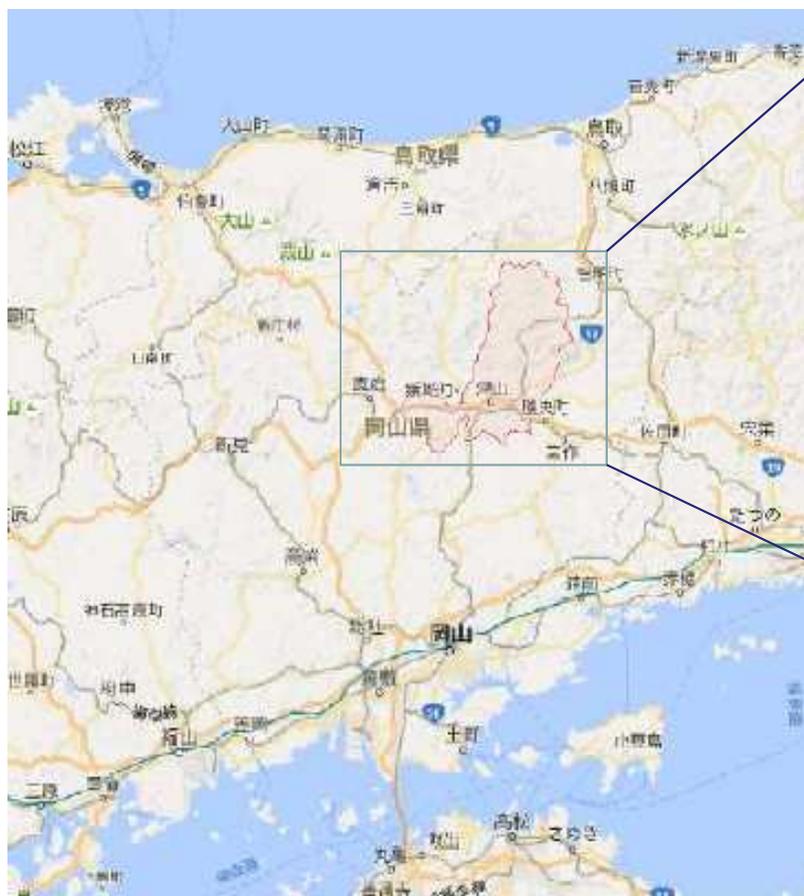
- みんなに「やさしい」「持続可能な」公共交通
- 「まちづくり」といっしょに考える公共交通
- 「交流」と「にぎわい」を創り出せる公共交通

その他に

- ・供給側の事業者の視点（運転手高齢化による運転手確保の問題）
- ・高齢者（特に免許返納者）や子育て世代を対象とした公共交通利用促進・確保
- ・立地適正化計画における、拠点誘導のコンセプトも織り込んでいく。

# 別紙 地域公共交通の現況

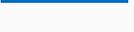
【津山市の位置】



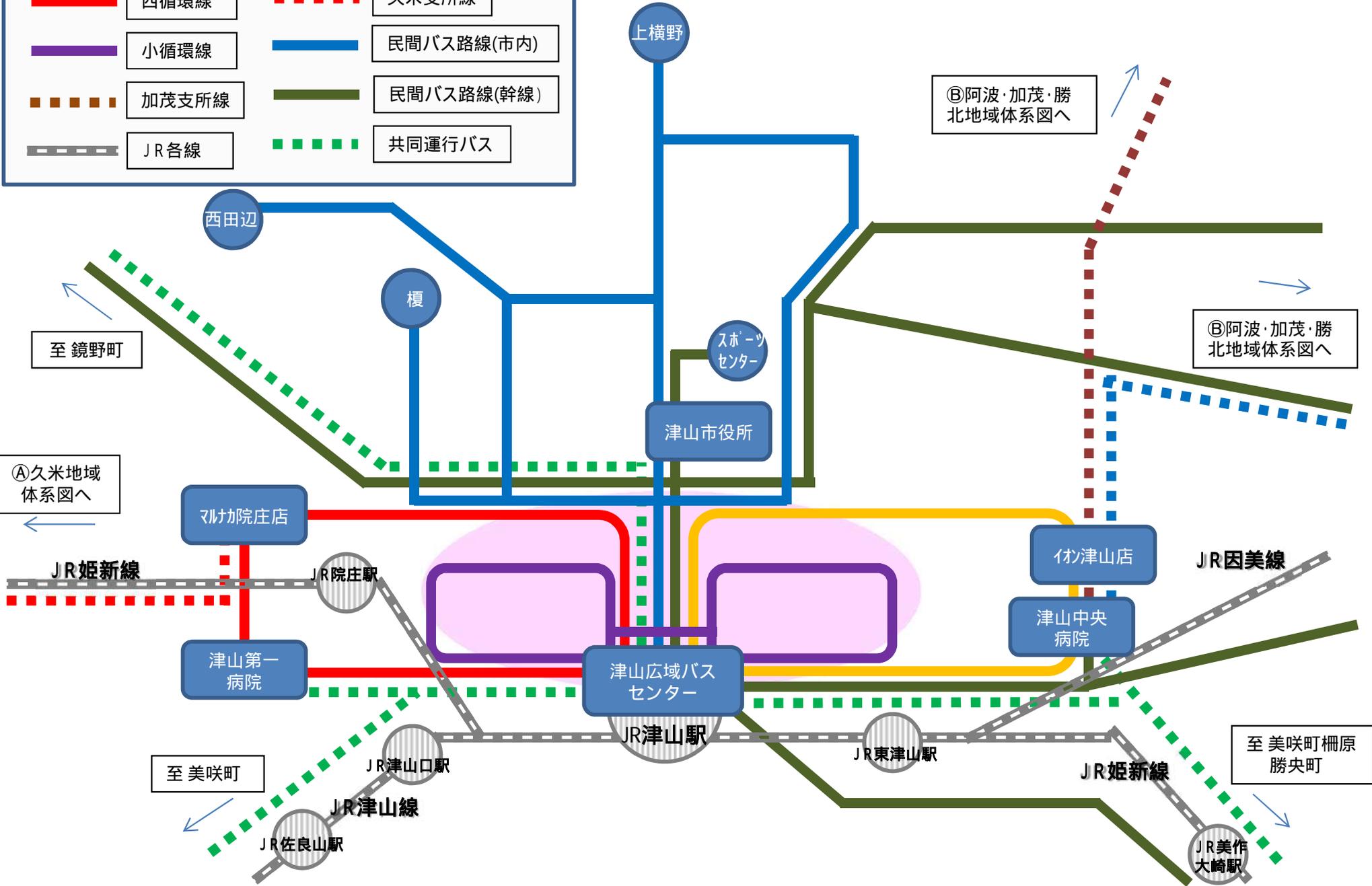
【津山市の公共交通】

- ・ 鉄道：JR津山線、JR因美線、JR姫新線
- ・ 4条バス路線：中鉄北部バス、加茂観光バス 計28系統
- ・ 市営阿波バス、地域巡回バス(有償3路線)、他自治体との共同バス(3路線)
- ・ 交通空白地有償旅客運送(阿波地域)
- ・ 市内タクシー事業者13社

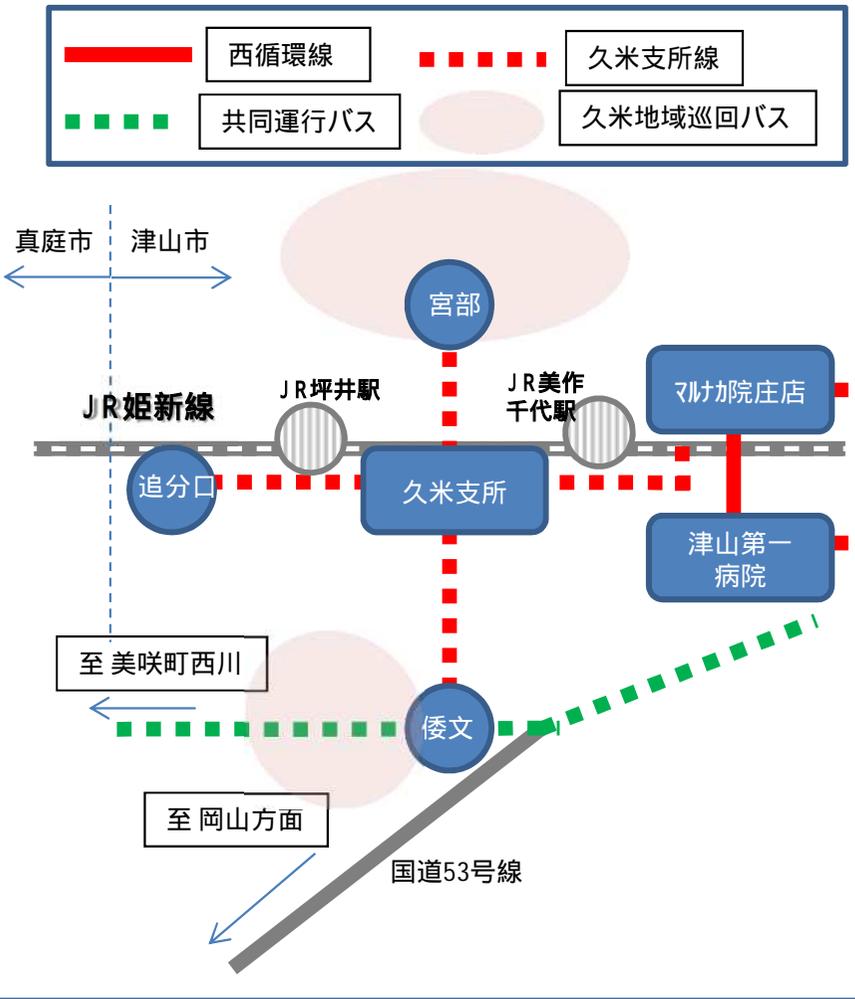
# 津山市公共交通体系図

	東循環線		勝北支所線
	西循環線		久米支所線
	小循環線		民間バス路線(市内)
	加茂支所線		民間バス路線(幹線)
	JR各線		共同運行バス

 中心市街地



### ① 久米地域公共交通体系図



### ② 阿波・加茂・勝北地域公共交通体系図

